

# まちの日記帳



「げんきの森」を探検！  
〜冬の森歩き・木を知ろう〜

2/28

森・海HUGくみたい（角田拓也会長）は、森・川・海の関わりや森と木の大切さを知ってもらおうと、余別地区の皆さんや余別小学校の児童を対象に森林体験活動を開催。スノーシューを履いて「げんきの森」を散策し、木の冬芽や樹皮の様子など、夏場は笹などで歩けない森の冬ならではの姿を観察しました。

また、コミュニティセンターに会場を移して行われた屋内活動では、木材の特徴を学んだほか、どんぐりや小枝を使ったマグネット制作も行われました。



美国中学校1年生が  
やすらぎを慰問  
〜あやとりや折り紙で交流〜

2/29 3/1

美国中学校1年生は、総合的な学習の時間を利用してやすらぎ利用者との交流を行いました。2日間の日程で行われた同施設での交流は、それぞれ2つのグループに分かれて17人が訪問。あやとりや折り紙のほか、昔の生活についての質問コーナーなど、笑顔が絶えない和やかな雰囲気で行われました。

最後には、生徒を代表して原羽末さんが「喜んでもらってうれしかった。」と挨拶し、利用者からは「楽しかった。」などと喜びの声も聞かれました。



笑って健康！  
町内老人クラブ会員が交流

3/1

平成23年度積丹町老人クラブ連合会交流会が総合文化センターで開催され、各地区の老人クラブ会員など103人が交流を深めました。

五輪橋産科婦人科小児科医院名誉理事長丸山淳士氏が「笑って健康づくり」と題し、健康の秘訣などについて講演。笑いを交えながらの軽妙な語り会場を沸かせていました。

また、午後からは簡単にできる認知症予防の運動や参加者による舞踊や歌の余興も行われ、楽しい時間となりました。



勝利へスマッシュ  
第21回町内卓球大会

3/4

町教育委員会が主催する第21回町内卓球大会がB&G海洋センターで開催され、小学生から一般まで総勢32人が参加し、シングルス戦や男女混合スリッパ卓球など合計6種目で優勝を争いました。

試合では、白球を追って好ラリーが展開され、スマッシュが決まると思わずガッツポーズ選手も見られました。

場内は、寒さを忘れる熱い戦いが繰り広げられ、拍手や歓声が響き渡っていました。



今年1人が皆勤賞  
第5回リフレッシュ学級 3/7



今年度最後となる第5回リフレッシュ学級が総合文化センターで行われ35人が参加しました。地域おこし協力隊・環境生態系保全技術指導員の河村博さんを講師に、サクラマス生態や森・川・海をつなぐ遊河回遊魚の働きなどについての講話や、鯨魚やソーラン節などをまとめたDVDの上映も行われ、積丹の豊かな自然や文化に触れる1日となりました。

閉級式では、今年度全学級に参加された土沼清さん(野塚町)に皆勤賞が贈られました。

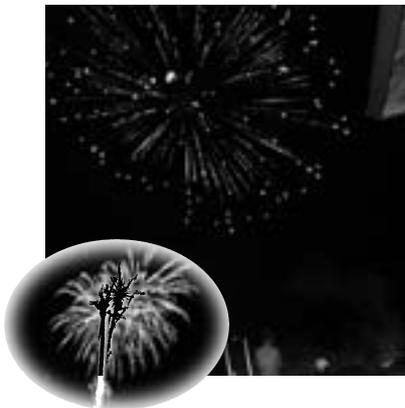
筋力アップで転倒予防!  
てんとおし教室開催 2/7 ~ 28



2月7日から28日の6回にわたり55歳以上の方を対象とした「てんとおし教室」がB&G海洋センターで行われました。

教室では、一人ひとりの歩く・登るなどの移動能力を測定し、転倒予防の必要性についての講座のほか、筋肉トレーニングやストレッチなど、転倒しない体づくりに必要な運動が行われ、延べ135人が参加。参加者同士の交流を深めながら、ほど良い汗を流していました。

露天風呂から見る  
冬の花火に歓声! 3/10



積丹観光協会(佐藤勝次会長)は、岬の湯じゃこたん冬の花火事業を実施しました。

この事業は、観光客の入り込みが減少する冬期間に、他のイベントの開催にあわせ、花火大会を実施することで、観光を盛り上げようと、町のまちづくり活動支援補助金の助成を受けて実施されたものです。

観光ツアーや一般の入浴客約120人が露天風呂の目の前に広がるダイナミックな花火に魅了され、「冬の花火最高!」などの歓声や拍手が沸きました。

大盛況!どっこいツアー  
ホッケのすり身に挑戦 3/10 ~ 11



積丹らしさを活かした宿泊体験ツアー「どっこいツアー」(主催:どっこいしゃこたん冬の陣実行委員会)が開催されました。午後4時ごろ、美国町に到着したツアー参加者30人は、町内の飲食店で積丹の冬の味覚を堪能した後、岬の湯へ移動。同日開催の露天風呂から見る冬の花火を楽しみました。

また、翌11日は、総合文化センターでホッケのすり身づくりの体験が行われ、悪戦苦闘しながらも真剣にホッケをさばく姿が見られました。